

- ◆企画名 平成 25 年度 留学生対象図書館案内  
日程 平成 25 年 3 月 27 日 (水)  
場所 関西大学総合図書館  
参加者数 36 名 (ピア・サポータ 13 名、研修生 2 名、留学生 13 名、  
来日時ボランティア 8 名)

#### 目 的

- ・ 4 月から入学予定の留学生に、図書館の利用方法やマナーを知ってもらい、貸出手続きと「検索機 KOALA」を体験してもらうこと。
- ・ 図書館を案内することによって、留学生利用者の不安や抵抗感を軽減させること。
- ・ 留学生の本の貸し借りがスムーズに出来るよう、手助けをすること。

#### 内 容

- ・ KU ブリッジ主催の「留学生キャンパスツアー」の中の一つ、「図書館案内」を担当しました。
- ・ まず初めに、図書館前にて館内でのマナーを説明しました。
- ・ 中に入ったのち、留学生を 6~7 名の 2 グループに分けてサポータによる「検索機 KOALA」の説明と実演を行いました。この際にグループ内から各 1 名を選出し、サポータと共に「検索機 KOALA」を使って決められた本を探し出しました。
- ・ 最後に本の持ち出し禁止用のブザーについて説明をし、実際に手続きをしていない本をゲートにかざしてブザーを鳴らして実演をしてみました。

#### 感 想

- ・ 簡単な日本語で説明すると、頷きつつ真剣に聞いてくれてとても話しやすかったです。言いたいことが伝わると交流している実感が湧きました。
- ・ 図書館のマナーを説明する際、その絵を描いたパネルを掲示して説明したところ、やはり言葉よりも絵の方がよく伝わっていたように見えました。
- ・ 少人数のグループに分けての行動により、留学生が気になることを質問してきたりと、交流を図ることが出来て嬉しかったです。
- ・ 案内が終わったあとに質問をしてくる人が多数いたので、興味を持ってもらえたように感じました。
- ・ 留学生に演じて見せたのは本を探すための基本的な方法だけなので、時間があれば本の取り寄せなどもしたかったです。

#### 改 善 点

- ・ KU ブリッジのメンバーと通訳の為に来日時ボランティアさんがついて来ましたが、かなりの大人数になったために移動が困難でした。留学生は簡単な日本語は理解出来ていたため、図書館内での移動をスムーズにするためにも、入館する人数を制限すべきです。
- ・ 人数も多すぎて移動に時間がかかったために、途中からの案内が独自で判断した行動になってしまい、各グループの案内の終了時間にかなりのバラつきが出てしまいました。
- ・ 参加者の全員が同じような名札をつけていて、誰が留学生か見分けがつかない時がありました。

